

令和6年度（2024年度）

特別支援学校技能検定大会

本県の特別支援学校高等部生徒の「働く意欲」や「働く力」を高めるため、清掃部門、喫茶サービス部門、食品加工（基礎）部門で技能検定を実施しています。

清掃部門

12月7日（土）

中信地区会場：長野県総合教育センター
南信地区会場：諏訪養護学校

12月14日（土）

東信地区会場：上田養護学校
北信地区会場：長野養護学校すざか分教室



喫茶サービス部門（今後決定）

（参考）令和5年度会場 SAIHOKUKAN HOTEL ヴィーナスコート佐久平 ホテルブエナビスタ
花田養護学校 RAKO華乃井ホテル 信州INAセミナーハウス

食品加工（基礎）部門

参加校（会場）

6月7日（金）
今後決定

諏訪養護学校ふじみの森分教室
稲荷山養護学校 飯田養護学校



- 障がい者雇用を検討されている企業関係者の皆様
 - 特別支援学校の取組に関心のある方
- 生徒の一生懸命な姿を是非、ご覧ください！

お問い合わせ先：長野県教育委員会事務局特別支援教育課
〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2
電話：026-235-7456 FAX：026-235-7459
メール：tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp

技能検定って何？

特別支援学校高等部生徒の「働く意欲」や「働く力」を高めるために、平成29年度から長野県教育委員会が導入した検定です。キャリア教育の一環として各部門の実技について学習し、その成果を発揮する機会となります。

どのように評価しているの？

各検定とも、手順書に従って確実に作業を進めることができたか審査員（各業界の方に依頼）が評価表に沿って評価します。評価項目には働くために必要な「身支度」、「準備・片付け」、「態度」等も含まれています。

評価表の例 清掃部門（テーブル拭き）より一部抜粋

作業項目	評価内容	評価	備考
1 身支度	口適切な服装（適正でなければ口にチェック。チェックが無ければ評価に○をする。以下の項目も同様。）		適正な場合2以降の評価を受ける
2 資機材準備	口白タオル 口黄タオル 口作業表示板		
3 作業開始	口作業を始める旨を告げる（※『○○学校の○○氏名』で。始めます』等、意思表示をする。）		
4 作業準備	口表示板を入口左側、部屋の角付近に寄せて置く 口壁に対して正面方向で置く		
5 タオル・たたみ	口正しく八折りにする 口端をそろえる 口床ではたたまない ※白、黄 共通		
6 タオル・しぼり	口黄タオルを濡らす 口片膝作業とし、すねは床につけない 口タオルはバケツ内でしぼる 口縦に握り、内側へしぼる 口立つ前手の水滴を拭く		濡らすタオルを間違えたらここにチェック
7 道具の持ち方・入室	口2枚のタオルを両手に持つ 口タオルのばらける方を親指ではさむ 口出入口で挨拶をする		『失礼します』もしくは一礼



◀ 清掃部門

▶ 喫茶サービス部門



◀ 食品加工部門

▶ 清掃部門
参加生徒 234名
▶ 喫茶サービス部門
参加生徒 73名
▶ 食品加工部門
参加生徒 17名
(令和5年度)

「できるかな・・・」が「できた！」に近づく時

参加した皆さんの声

- ・たくさん練習して自分の今までの練習をプロの方に見てもらうのはすごく緊張したけれど、自分の力を発揮できたので良かったです。（生徒）
- ・1級をとりたいし、私はどれくらいできるか試したいという気持ちで参加しました。とても緊張して、作業表示板を忘れてしまいました。でも楽しくやることができました。「とても声のはきはきしている、動きがきびきびしている」と審査員の方が言ってくくださったのは、とてもうれしかったです。（生徒）
- ・どんな雰囲気のかなんな検定なのか分からず見学しましたが、まさに検定としてすごい緊張感の中、わが子も皆さんもがんばっていて、それがとてもうれしかったです。（保護者）
- ・技能検定やそれに向けた学習はよいと思います。企業側もそれに応えるように雇用を考えていく必要があると思いました。技能検定当日の様子を見て、各校でこんなにもひたむきに取り組んでいる生徒がいることをうれしく思い、感動しました。（企業様）

生徒の皆さんの様子を見に来てください。

技能検定大会当日はもちろん、日々の学習の姿をぜひ近くの特別支援学校へ見学にお越しください。

生徒の真剣な姿をご覧いただけると幸いです。

（窓口は各特別支援学校教頭）

長野県教育委員会学校案内アドレス<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/tokubetsu-shien/link/tokubetsushien/index.html>

